

WIPOイノベーションクラスター2026：世界2位「東京・横浜」の光と影

WIPOの最新ランキング結果から、日本のイノベーションにおける強みと構造的な弱点を明らかにし、今後の成長戦略の方向性を提示する。

世界の勢力図と日本の「規模」

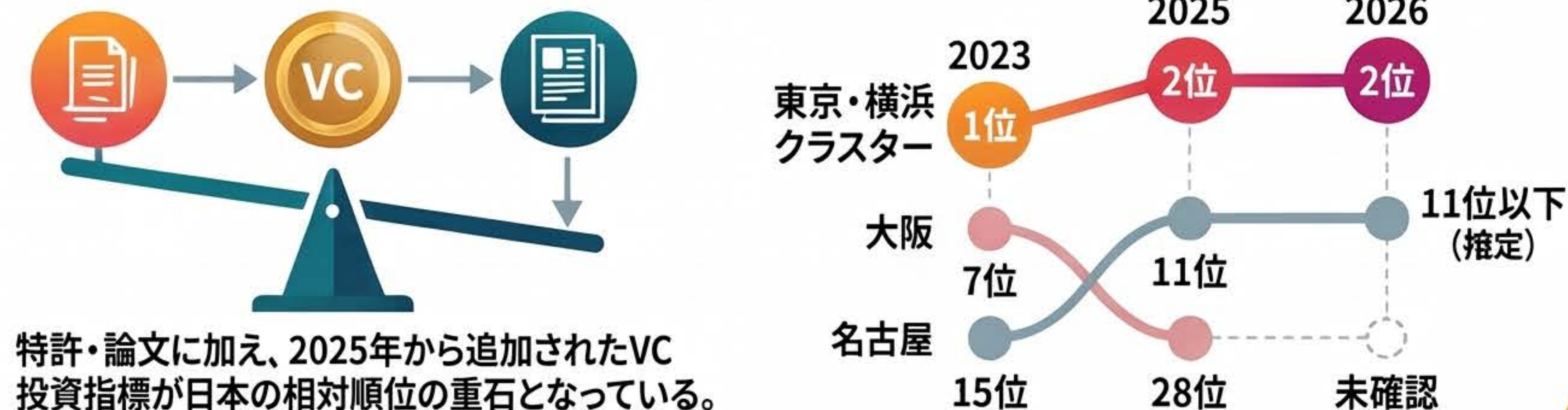


深セン・香港・広州 (1位) に次ぐ規模を誇り、特許出願数では世界首位級のストックを持つ。

クラスター数で中国 (25) と米国 (20) が圧倒



ランキングを左右する「第3の指標」VC取引



日本の構造的課題と反転攻勢への戦略



規模は大きいものの、人口当たりの活動密度や新興企業の創出力で他国の後塵を拝している。



「量」から「VC連動・社会実装」への転換

